

# 令和6年度 防災活動事例集【追録】

## I みんなの防災展

みんな

きっとみつかる

ジブンの色の防災

# の防災展

～令和6年度自主防災組織活動事例共有会～

日時：3月15日（土）13時～16時

場所：市役所本庁舎4階会議室1～5、1階市民ふれあいプラザ

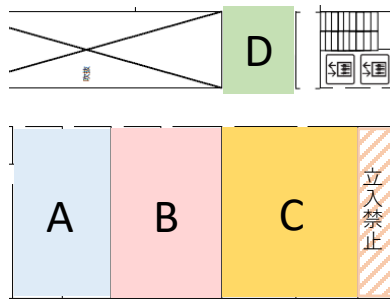
各ご家庭で「備えておく」とよい物品」や地域の自主防災組織等が日頃取り組んでいる「防災活動」を紹介します！

動き出そう。「誰か」じゃなくて「私が」

主催：茅ヶ崎市

# 〈本庁舎4階〉 展示内容のご案内

〈1階 市民ふれあいプラザ 展示〉  
都市政策課・建築指導課  
衛生課・防災対策課



4種類のブースで  
実施中！！



@CHIGASAKI\_BOUSAI

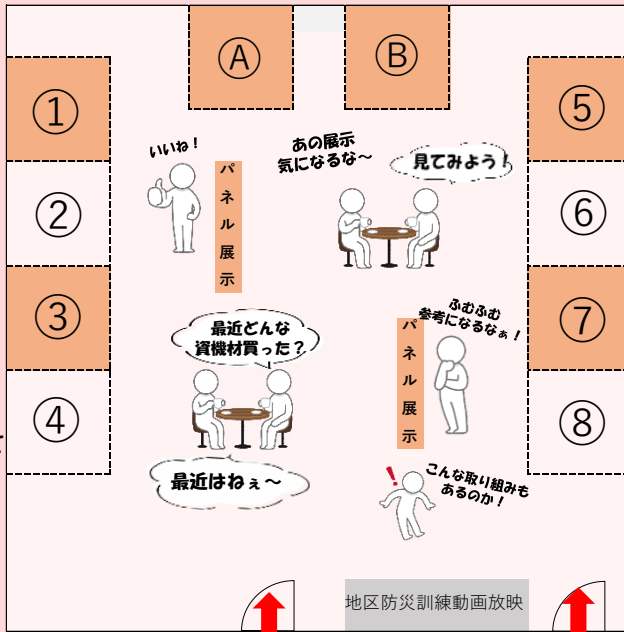
↑ ↑ ↑  
防災対策課  
Instagramでも  
情報発信中！！

## B 事例紹介ブース

①A 発電機展示 【松浪一丁目自主防災会】  
②B 搬送資機材展示 【菱沼自主防災会】  
【上町自治会防災会】

直接お話を  
聞くことができる！

- ① 茅ヶ崎南地区防災訓練でのソーラークッカー実演  
【茅ヶ崎南地区 まちぢから協議会】
- ② 下田産婦人科と搬送訓練  
【下田産婦人科、幸町自主防災組織】
- ③ 安否確認訓練  
【小和田地区自治会連合会】
- ④ 海岸地区ペット防災について  
【海岸地区 まちぢから協議会】



- ⑤ 松林小学校 6年生防災学習  
【松林学区青少年育成推進協議会、菱沼自主防災会】
- ⑥ 地域と共同して行う防災学習会  
【鶴が台中学校】
- ⑦ 要支援者に寄り添った防災事業  
【茅ヶ崎支援学校】
- ⑧ 松浪中学校生徒と防災マップ作成  
【松浪地区 まちぢから協議会】

## A 災害体験ゾーン

発災から72時間を生き残れるか！？

命を守る

助けあう

生き延びる

生き延びる

発災時に  
キーポイントとなる  
3つのテーマをもとに  
災害時を体験！

## C 講演ブース

ここでしか聞けない！

- 13:10～ 「地域と共同して行う防災学習会」  
13:45 茅ヶ崎市立鶴が台中学校
- 13:55～ 「南海トラフ地震について」  
14:40 横浜地方気象台
- 14:50～ 「地域防災について」  
15:50 茅ヶ崎市防災危機管理アドバイザー

## D 防災資機材相談ブース



昨年の様子

資機材の  
お悩み  
解決します

備蓄食の  
試食も！



- ◆事例発表ブースでは、開催時間中いつでも質問・相談をすることができます。
- ◆来場者には備蓄の更新で回収した備蓄食をプレゼントします。  
※賞味期限が近くなっていますので、お早めにお召し上がりください。
- ◆展示内容は予告なく変更となる場合があります。ご了承ください。





## 茅ヶ崎南地区防災訓練での ソーラークッカー実演

地区名：茅ヶ崎南地区

組織名：茅ヶ崎南地区まちぢから協議会

自治会加入世帯：5,740世帯

令和7年2月作成

### 活動内容

小学校を使用した地区防災訓練としては初めて、ソーラークッカーを使用した訓練を実施しました。当日は序盤曇り空だったものの、後半は天候に恵まれ、お湯を沸かし参加者にも見ていただくことができました。当日は湯銭用にサツマイモおよびカボチャを用意したほか、焼き料理用にパンケーキミックスを用意しました。またソーラークッカーは合計で7台使用しました。当日は調理の実演はできませんでしたが、事前に用意した完成後の料理を一口サイズにして用意し、訓練参加者に試食していただきました。

訓練参加者にはそれぞれ興味を持って説明を聞いていただくことができ、今後の訓練内容にも活かしていきたいと思えます。



### 活動のポイント

→

ソーラークッカーでお湯を沸かす様子



はじめての試みであったことから、準備段階から他地域のソーラークッカーに詳しい方にご協力いただきました。また訓練当日も参加していただき、それぞれのソーラークッカーの特徴や使用のコツなどを詳細に伝えていただくことができました。

またソーラークッカーの本体が大きいので、運搬にリヤカーを使用し、そのまま訓練中も活用することができたことも、貴重な経験となりました。



## 下田産婦人科と搬送訓練

地区名：茅ヶ崎南地区

組織名：下田産婦人科、幸町自主防災組織

令和7年2月作成

### 活動内容

下田産婦人科は、当自主防災組織の地域内にある産科医院です。産科医院であることから、発災時には妊産婦と乳幼児の生命・安全を確保しなければならないという性質があります。これらを踏まえ、同じ地域のなかで協力しあい、共助として公共の福祉を確保する必要性があると考え、合同訓練を行いました。

令和5年度に実施した訓練では布担架を使用し1階から外へ搬送する等の訓練を行い、それを踏まえ令和6年度は2階から1階へ下がる搬送訓練や簡易担架を使用した訓練を実施しました。



### 活動のポイント



下田産婦人科では2階から1階に降りる階段の踊り場が狭く、担架では方向転換が難しい状況です。そのため、座った状態で搬送することができる座位式担架を使用して訓練を行いました。これにより、安静を保った状態で患者さんを搬送する方法を習得することができました。実際に使用する現場で訓練を行ったことが、とても有意義であったと感じます。

# 防災活動事例紹介

主催: 小和田地区自治会連合会  
2024. 6.23(日)

## 第8回 小和田地区安否確認訓練を実施

### 活動内容



**安全表示のない家は  
要支援者・・・です!**



安否が不明???

小和田小学校本部

被災時には、まず自分と家族の安全を守る「自助」を  
そして、次の段階で、身近な方々の安全を守る  
「近助」＝「共助」が、とても重要です。

安否確認訓練を行うことで、近隣の方々の顔を知り、  
普段から、挨拶を交わせる良い関係を築きましょう。

安否確認世帯数合計4,543 / 安否確認世帯数比76.6%

※ 各自治会毎に無事確認表示有り、無しの集計結果を本部拠点に報告(雨天決行)



赤松自治会



赤松町自治会



本宿自治会



菱沼小和田自治会



新宿自治会



プランヴェール湘南茅ヶ崎(自)



## ペットを連れての避難



令和7年2月作成

地区名：海岸地区

組織名：海岸地区まちぢから協議会防災安全部会

自治会加入世帯：7083世帯

### 活動内容

前年度に行なった避難所開設訓練での課題となった「避難者受付時のスペース割り振り」の改善を図るため、新たな取り組みを実施しました。「人とペットの共存」をテーマに、人とペット共に「スムーズかつ納得の出来る受け入れ」を可能にするため、受付場所を完全に別にし「ペットに特化した業務を行える人材」を育成する事業を実施しました。全3ステップを修了した方に「海岸地区まちぢから協議会」が「ペット避難所管理リーダー」として認定させていただきます。今後の「ペットとの避難対策」を考えるうえで地域の特性を考え地域住民の知を活かした提案を作成していく足がかりにし、新たな地域の人材参加の効果も実感しています。



### 活動のポイント



1. 避難所開設・運営において重要な「安全・安心・平等」を命あるもの全てにという思いのもと、活動すること
2. 災害時と平時のリーダーの資質は異なり、担当部所に関しての知識を学ぶことでリーダーになっていく
3. 関係者は実施内容に共通認識を持ち対応がぶれない
4. ペットのお散歩などペット仲間のコミュニティを通じて、「防災」に関して興味を持ってもらうこと



## 松林小学校 6年生防災学習

地区名：松林地区

組織名：松林学区青少年育成推進協議会、菱沼自主防災会

令和7年2月作成

### 活動内容

松林小学校の6年生が、普段取り扱えない移動式ホース格納箱や搬送器具など防災資機材を使用して防災学習を行いました。

消防団員の指導のもと実際にマンホールの蓋をあけ、ホースをつないで放水したほか、「放水はじめ!」「放水やめ!」など伝達も、団員の皆様さながらに行いました。

防災資機材の取り扱いでは毛布を使用した搬送や簡易トイレの取り扱い、テント、バルーン投光器などに触れ、発災時をイメージしながら学習を行いました。



体験内容	担当
放水体験（移動式ホース格納箱）	消防団
防災資機材体験	菱沼自主防災会
炊き出し体験	松林学区青少年育成推進協議会

### 活動のポイント



松林小学校・松林学区青少年育成推進協議会・菱沼自主防災会の3組織が連携することで、通常の授業では取り扱いが難しい内容を体験することができました。「マンホールの中はどうなっているんだろう?」「簡易トイレってどんなもの?」「毛布で人を持ち上げられるんだ!」など、様々な気づきがありました。子どもたち自身が「自分でもできることがあるんだ」ということを実感し、興味深々に防災資機材に触れている様子がとても印象的でした。

# 地域と共同して行う防災学習会

## 防災学習会の概要

### 【日時】

令和6年9月7日（土）  
13:00～

### 【場所】

鶴が台中学校・各自治会

## 参加自治会・人数

甘沼・松風台・香川・下赤羽根・  
ライトタウン・西久保・高田・  
鶴が台・円蔵・みずき+学区外

生徒の参加数： 289名

防災リーダー参加数： 20名

## 活動のポイント

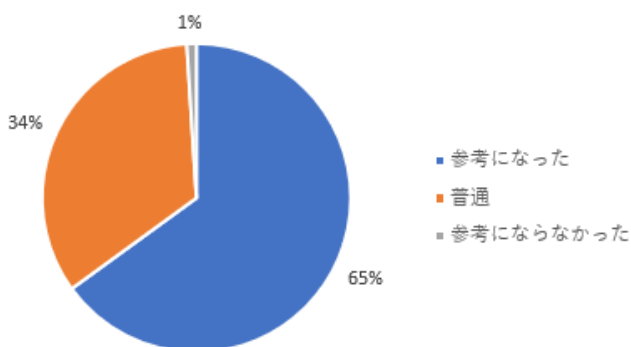
- ①災害時、避難方法やその後の行動を学習する。
- ②各地区の防災リーダーと顔合わせをすることで、災害時に安心して避難できるようにする。
- ③避難所での生活で、地域貢献できるよう各地区の防災リーダーと話し合い、考える機会とする。



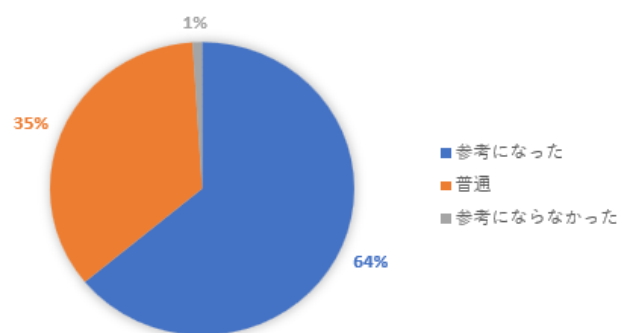
※写真は令和5年度

## 生徒アンケートから

講演会を聞いて参考になりましたか？



自治会の方のお話は参考になりましたか？



## 生徒の感想（抜粋）

- ・避難所で中学生ができる事例を教えていただき、勇気をもてた。
- ・地域の方々は中学生の力を本当に必要としていることを知った。など



## 防災共生

～つながりながら そなえる そなえながら つながる～

地区名：西久保

組織名：神奈川県立茅ヶ崎支援学校

令和7年2月作成

### 活動内容

神奈川県立茅ヶ崎支援学校です。西久保に所在し、茅ヶ崎市、寒川町、藤沢、平塚から約230名の児童生徒が通学しています。

本校では数年前より、「つながりながら、そなえる そなえながら、つながる」をテーマに地域の「ひと・もの・こと」と関わらせていただく「防災共生」という視点で発災時の安心安全に向けた取組みを進めております。

特記する取組みとして「車中泊」、「給電」が挙げられます。それは、日常的に医療器具を用いて生活している児童生徒がおり、発災時の給電確保が必然だからです。蓄電池、ソーラー、車の活用なども企業とタイアップして、有効な手段を探っています。



### 活動のポイント



各家庭での被災を想定して、それぞれの状況に応じた防災プランや用品を試すことができる機会「車中泊体験キャンプ」を提供しています。今年度で3回目の実施で、10月に本校で1泊2日で実施です。防災備蓄食を調理し、夜間は車中かテント、体育館などで就寝します。毎年の実施により、参加家庭の自助力が年々向上しつつあり、保護者同志の情報交換も有用な機会となっています。



## 中学生と防災マップ作成

地区名：松浪地区

組織名：松浪地区まちぢから協議会

自治会加入世帯：7,829世帯

令和7年2月作成

### 活動内容

#### 松浪中生と防災マップ作成

松浪中学生が自主防災会と一緒に地域を巡り、地域の危険箇所や防災資源を確認し、防災マップを作成。また、自主防災会から発電機の始動方法や初期消火の方法を教わることで地域内の「顔の見える関係性」を構築しています。



#### 松浪地区防災訓練での発表

昨年度に続いて、今年は松浪小学校でも防災マップ発表を実施。各自主防災会事に生徒が発表することで、防災関係者以外の参加者も発表を聞き、「危険箇所や防災資源について」興味を持っていただけるといった発表となりました。



### 活動のポイント



昼間は勤労者等が不在であるため、基礎体力が備わっている中学生の力が、災害時には欠かせない存在となります。そのため、中学生と「顔の見える関係性」を構築することが地域防災力の向上につながると考えています。また、活動の継続性という視点からも、若い世代が防災活動に参加することが重要と考えています。

## 自治会秋祭り「防災〇×クイズ大会」を実施

地区名：鶴嶺東地区

組織名：サニー防災会

住戸数：サニータウン茅ヶ崎 集合住宅11棟 (321戸) + 戸建 (26戸)

令和7年2月作成

### 活動内容

サニータウン茅ヶ崎近くの一本松公園で開催の自治会秋祭りにおいて、お子様から年配者まで住民の皆様に参加してもらえ「防災〇×クイズ大会」を行いました。

大きな災害への備えとして知っておいてほしい内容を問題集にして〇×クイズ形式で正解者を絞り込み、更に防災ポイント解説を加えることで、参加者や観客の皆様に参加意識を高めてもらう取り組みができたと思います。

1等2等3等に商品として防災グッズ&保存食詰合せを、また参加者全員に災害用トイレ袋を差し上げてご家庭でも必要な災害用備蓄をお願いしました。



### 活動のポイント

災害時の自助・共助・公助に役立つ内容を考えて〇×クイズを工夫しました。

- ・集合住宅の階段室1階に(救護用布担架&ヘルメット&LED懐中電灯)がある
- ・階段室各階に消火器を配備(合計163本)している
- ・団地内と一本松公園に街頭消火器(5カ所)が設置されている
- ・管理事務所前の屋外広場にAED(リモート監視保管箱)を設置している
- ・団地南側の千の川が越水しなくても団地内は冠水するところがある
- ・警戒レベル4避難指示で避難所に行く時は上履と生活用品や軽食を持参する



## 2つの自主防災組織が連携した訓練



グランヴァーグ茅ヶ崎防災会  
キャラクター グランバーガー

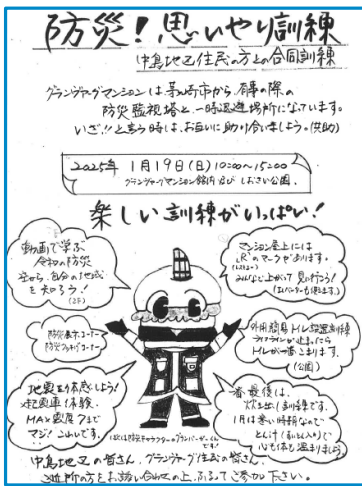
地区名：湘南地区

組織名：グランヴァーグ茅ヶ崎防災会

中島自主防災会

令和7年3月作成

### 活動内容



グランヴァーグ茅ヶ崎防災会と中島自主防災会は、いざというときに助け合うことができるよう、連携して防災訓練を実施しています。

今回は主に地震を想定した訓練として、「起震車」「防災グッズの展示」「トイレの組み立て」「炊き出し」等を実施しました。参加者が気軽に会話をしながら体験できる内容にしたことがポイントです。

自主防災組織の枠を超えて、顔の見える関係ができています。いざというときにとても心強いと考えています。大きな災害は必ず来るという心構えで、今後もこの連携訓練は継続していきたいと考えています。



### 活動のポイント



グランヴァーグ茅ヶ崎防災会は、マンションの強みを活かし、マンション内の一部を中島自主防災会の方の避難スペースとして提供する取り組みを行っています。今回の訓練では、実際に避難するスペースを使って、災害に関する講話を行い、避難の考え方や、自助・共助の取り組みなどを共有しました。また、マンション屋上にある「R（レスキュー）」マークの確認も実施しました。



## 夏休みの子供の居場所づくりプロジェクトで 防災イベントを実施

令和7年2月作成

地区名：海岸地区、鶴嶺西地区

組織名：地区まちぢから協議会・地区民生委員児童委員協議会・  
地区社会福祉協議会・学校区青少年育成推進協議会 など

### 活動内容

各地区により関係団体は異なります

海岸地区、鶴嶺西地区では、夏休みの子供の居場所づくりプロジェクト（約1ヶ月間）の中で、防災イベントを企画・実施しました。

#### ○サマースペース海岸

うみかぜテラスで、防災講座と避難訓練を実施しました。市防災対策課職員による防災講座では、地震発生時の身の守り方や取るべき行動などを学びました。その後、施設管理者の誘導により、屋外へ安全に避難するための経路を実践的に確認しました。



海岸地区 避難訓練の様子

#### ○つるにしサマースペース

鶴嶺西地区コミュニティセンターで、市防災対策課の協力により、防災豆知識ゲームと起震車体験を実施しました。地震をテーマに、知識の習得と体験を通じて、地震への備えを学びました。

歩いている途中で地震が起こった！



鶴嶺西地区 防災豆知識ゲーム

### 活動のポイント

災害はいつ・どこで発生するかわからないため、子供達が災害時に自ら判断して行動できる力を養うことは重要です。今回の防災イベントでは、子供達が自ら災害について考える様子が見られました。これらの経験を家庭などに持ち帰り、家庭、そして地域の防災力向上に繋がっていくことを期待します。

## 災害時協力井戸の確認と 自治会防災井戸の掘削

浜須賀自治会  
災害時協力井戸

地区名：浜須賀地区

組織名：浜須賀自治会自主防災会

令和7年2月作成

### 活動内容

大地震が発生した際、特に断水の影響が大きいと想定され、災害時の生活用水の確保が課題と感じています。その対策として地域内の井戸の状況を調査し、現在使用できる井戸を明らかにしました。それらの井戸は「災害時協力井戸」とし、玄関先等に青い札を掲示することで、平時から災害時協力井戸があることを周知啓発しています。

また新たに浜須賀第二公園で地下水脈を調査し、「自治会防災井戸」を掘削しました。平時は写真6のように蓋をしています。井戸を使用する際には写真5のようにポンプを取り付け、使用することができます。ポンプの取り外しができることによって、ポンプ自体の劣化を防ぐことにもつながっています。



写真1 工事1日目



写真2 工事2日目



写真3 工事3日目



写真4 工事4日目



写真5



写真6 平時の井戸

ポンプが取り付けられた井戸

### 活動のポイント



手押し式簡易ポンプの様子

井戸の調査は浜須賀自治会の防災リーダーが担当しました。停電したときのことを想定し、電動式ポンプと非常用発電機の接続試験を行ったほか、休止中の井戸については手押し式の簡易ポンプで水をくみ上げました。普段は井戸を使用する機会が少ないなか、防災リーダーの経験にもつながったと感じます。引き続き、地域全体で災害時協力井戸の維持に努めたいと思います。

## 親子で防災キャンプ

地区名：浜須賀地区

組織名：茅ヶ崎トラストチーム

令和7年2月作成

### 活動内容

場所：茅ヶ崎市立浜須賀小学校 体育館

避難所となる小学校の体育館で宿泊し、寒さや暗さを体験することで、今後の備えに役立てることを目的として実施しました。親子での参加や寒さや暗さの対策をそれぞれの家庭で考え、準備することをお願いしました。

<活動の流れ>

**ナイトウォーク**：校舎の周りを歩きながら、防災トイレの仕組みや、防災倉庫の中を確認。

**パーテーション・ベッド組み立て**：親子がナイトウォークをしている間にサポーターとして参加した有志の防災リーダーが防災対策課の職員よりレクチャーを受け、戻ってきた親子と組み立てを実施。

**被災地の避難所の話**：体育館の電気を消し、投光器の光の中静かに話を聞きました。普段と違う状況で子どもたちも真剣です。

**就寝体験**：パーテーションや簡易ベッドを組み立て、持参した毛布や寝袋などで就寝。

**ふりかえり**：翌日ラジオ体操、朝食の後、気づいたことや感想、持ってきてよかったものなどふりかえり、みんなで共有しました。



### 活動のポイント



普段から、楽しい体験の中に防災要素を入れていくことで防災を身近に感じていただけるような企画をしています。今回の宿泊でも子どもたちは学校に泊まることにワクワクしていましたが、体験を通じて、避難所について考えてもらうよいきっかけになりました。

活動のふりかえりでは、防災トイレの感応式電気は個室に近く、途中で消えてしまうことや、寒さだけでなく音に対する備えも必要であること、予想以上に寒かったことなど、やってみないとわからなかったことが多くありました。また、防災リーダーとパーテーションや簡易ベッドの組み立てを実施し、地域と子ども達の顔の見える関係性の構築、地域防災力の強化を図ることができました。子どもたちも配給や組み立ての手伝いなど避難所の中でもできることがあるということを知ることができました。



## 2 防災活動事例追加募集

## 1 自主防災組織として活動していること

### (1) 住民意識活動

1	防災リーダーの育成	室田自主防災会
集まる人が少ないため、自治会内の若手に積極的に声をかけている。		

2	防災意識の啓発	萩園自主防災会
"子どもと大人、地域のふれあい"をテーマにした「萩園ふれあいの日」を開催。その中で、防災リーダーが中心となり、訓練を実施。 (1) 炊出し訓練：①かまど、釜、薪を使用して豚汁を調理 ②非常用発電機を用いて電気ポットで非常食を調理 (2) 防災リーダーと中学生を対象に非常用発電機（ガソリン式、ガス式）の取扱い訓練を実施。 (3) 子どもが消防車両にふれあう企画を実施（協力：消防団）		

3	イベントにて「防災クイズ」を実施	TBS自治会自主防災会
自治会の夏祭りで1ブースをもらい、防災クイズを実施。親子で多数の参加があり、家族で防災について話し合うきっかけになった。		

### (2) 訓練・研修

4	災害時の号棟別の在宅避難確認表を整理	サニー防災会
1～11号棟の階段委員（32名）とガーデンハウス委員が全戸訪問して、確認用名簿に安否確認情報を記入して防災会本部に報告する。名簿を整理して1～11号棟別（合計321戸）とガーデンハウス（26戸）の在宅避難確認表の形にする。防災会本部に掲示し、情報共有することで在宅避難生活支援に活用する。 ⇒自主防災訓練の中で役割行動と作業手順を確認している。		

5	安否確認訓練	若松町幸自治会
年度末くらいに2か所の防災倉庫を拠点として集まり、2人1組で地域を見回る（会員の方にも集まっていた）		

6	自主防災訓練の内容見直し	第一ハイツ茅ヶ崎自主防災会
通常の避難訓練に合わせて、主要な防災資機材（発電用ソーラーパネル・止水板等）の使い方の実技に時間を割いて行なった。		

7	防災訓練の実施	やよい自主防災隊
年1回、安否確認訓練、防火放水訓練を実施。あわせてここ2～3年は近隣の他自治会との合同訓練を行ない、地区としての防災意識に努める。		

### (3) 広報・情報共有

8	防災意識啓発のための「防災通信」を継続発行	浜須賀自治会自主防災会
自治会独自で2014年より発行している「防災通信」を、令和5年度は4回発行しました。5月「39号自治会総合防災訓練のお知らせ第2弾」、6月「40号総合防災訓練の報告」、9月「41号どうするペット防災」、12月「42号地区防災フェアの報告」（予定）などカラー版で見易く、訴求力を留意しました。		

9	餅つき大会への参加	浜竹一丁目自主防災会
200名以上集まる人気の「餅つき大会」に参加協力し、防災リーダー募集チラシの配付と声かけ並びに防災活動内容の紹介を行なっている。		

### (4) 組織力の向上

10	月1回の防災会議	若松町幸自治会
月1回防災部として役員会とは別に、会議をしている。月ごとにテーマを決めて話し合いを行なっている。		

11	有事に備えた資機材の点検	萩園自主防災会
(1) 非常用発電機（ガソリン式、ガス式）を毎月1回連続30分程度の動作チェックを実施 (2) トランシーバーを自主防災会本部と所持者間で感度チェックを隔月実施。また、自治会内の地震避難訓練時に情報受伝達訓練に活用。なお、鶴嶺西地区まちぢから協議会防災部会の一員として月2回の交信テストを実施。		

12	班内ウォーキング	浜竹一丁目自主防災会
自治会執行部主催の班内ウォーキングに参加し、移動式ホース格納箱の説明、消火栓の場所確認と防災倉庫内の資機材の説明をしている。		

13	組長へ消火器を貸与	浜竹3丁目自主防災組織
平成27年年度から消火器の配付を行なっている。各戸の玄関ドアの外に設置して貰い、火災を発見した人は誰でも直ぐに消火器を持ち寄って、初期消火に従事出来るようにしています。昨年度までで352戸に設置済み。時折、家の中にしまってしまう方もいるため、毎年、注意喚起の文書を配っています。		

### (5) 要支援者

14	避難行動要支援者への対応	第一ハイツ茅ヶ崎自主防災会
自主防災訓練時に自主防災会役員が玄関から付き添って避難行動を実施した。		

15	安全確認チェックリスト	下町自治会防災会
災害時の安全確認（安否確認）訓練に要支援者の名前を入れてチェック確認を行なっている。		



16	避難行動要支援者対象マップ作成	湘南ライフタウンF地区茅ヶ崎防災会
対象者が年々増加していることから民生委員が作成したマップを共有し、防災支援隊と協力し具体的な方策を検討している。		

17		
避難行動要支援者について各班長へ共有し、各班長は要支援者の状況を理解し、近隣住民と対策を検討した。		

## 2 防災リーダーとして活動していること

### (1) 意識啓発活動

1	自治会役員会時に防災ミニセミナーの実施	浜竹一丁目自主防災会
毎月行なわれる自治会役員会の後半の時間を防災ミニセミナーとして、防災の話、簡単にできる防災用品の作成や毛布を使った搬送法、暗闇でのテント張りなどを実施し、役員と意見交換を行なっている。		

### (2) 訓練・研修

2	防災に関する講師を務める	TBS自治会自主防災会
「スマイルサロン（住民の親睦や交流を図る月1回の集まり）」にて防災をテーマにした講演会を実施し、講師を防災リーダーが務めた。 内容：風水害時の避難について、人命救助（AEDの使い方を含む）		

### (3) 防災資機材に関すること

3	防災倉庫の点検	TBS自治会自主防災会
公園に設置している防災倉庫の中の資機材を年3～4回、点検している。あわせて倉庫の周囲の除草、清掃を実施。		

4	地区防災訓練への参画	若松町幸自治会
まちぢから協議会の防災部会に参加して、地区防災訓練への取り組み（企画・訓練指導等）に関わりました。		

5	月1回のロールコール	若松町幸自治会
会長、防災リーダー4名の計5名で月1回のロールコールをしてトランシーバーを使えるようにしており、不具合があると直ぐにわかるようにしている。		

### (4) 組織力の向上

6	災害時の支援者のリスト作成	やよい自主防災隊
年度初めに、自治会内全戸に災害時の支援者を募り、災害時の救援体制を整えている。ただし、要支援者リストは部外秘とし、取扱には注意している。		

7	防災リーダーを中心に支援隊を組織	湘南ライフタウンF地区茅ヶ崎防災会
防災会の中に防災リーダーをまとめ、防災支援隊を組織している。		

### (5) 要支援者に関すること

8	避難行動要支援者の見守りマップを共有	萩園自主防災会
市から提供された「マップ」をベースに防災リーダーに近隣の要支援者情報を共有し、日頃の見守りをお願いしている。（自治会が独自で見守りランクを設定）		

### 3 整備している資機材に関すること

#### (1) 維持管理

1	資機材・備品の棚卸し	第一ハイツ茅ヶ崎自主防災会
防災倉庫にある資機材・備品をマンション内広場に全て搬出し、整理整頓及び整備すると同時に資機材の動作確認を実施。		
2	防災倉庫の整理・整頓	第一ハイツ茅ヶ崎自主防災会
不要品（故障品及び修理不能品）を廃棄し、倉庫の機材・備品がスムーズに行えるようにした。		

#### (2) 本部活動用資機材

3	トランシーバーの整備（購入計画）	室田自主防災会
防災リーダー全員が使用できるよう購入を計画し、毎月実施される地域内の送受信訓練に参加している。		
4	デジタルトランシーバー登録局を増強	サニー防災会
サニー防災会本部と円蔵小学校避難所との連絡用デジタルトランシーバー（2台）について、1台増強して災害対応のために行動する防災リーダーが必要に応じて持参してそれぞれ連絡できる体制を整える。 ※デジタルトランシーバー登録局は鶴嶺東地区の9自治会で使用するChを決めて活用している。		
5	簡易デジタル無線機の強化	浜竹一丁目自主防災会
災害時の情報連絡網の確保として、防災リーダー全員に行き渡るよう簡易デジタル無線機を追加購入し、更に自治会災害対策本部として固定型のトランシーバー及びアンテナの購入を行なった。		

#### (3) 避難対策用資機材

6	移動式ホース格納箱の整備	浜竹一丁目自主防災会
消火栓の場所近くに移動式ホース格納箱が整備されていない箇所に「火消箱」4台を購入し、整備を実施した松浪自治会館防災倉庫内に「防災掲示板」を整備し、避難場所、各種防災イベント等の周知を実施。		



# 参考資料

## 1 3 地区まちぢから協議会等位置図



※1 区域線については、一部不整合のところがああります。

※2 湘北地区のみ自治会連合会。

# 茅ヶ崎市内の自主防災組織（135組織）

茅ヶ崎地区 19	本町第一	湘南地区 8	中島	松浪地区 14	浜竹一丁目
	本町第二		柳島		浜竹二丁目
	本町第四		松尾		浜竹三丁目
	茅ヶ崎グリーンハイツ		浜見平団地		浜竹四丁目
	パークタウン茅ヶ崎		松風		松浪一丁目
	パークタウン茅ヶ崎第二住宅		エクシード茅ヶ崎		松浪二丁目
	元町第一		ベルパーク湘南茅ヶ崎		富士見町
	元町第二		グランヴェアグ茅ヶ崎		L G 富士見町
	新栄町第一		常盤町		
	新栄町第二	円蔵	緑が浜		
	十間坂	矢畑	汐見台		
	矢畑南	西久保	出口町		
	ニューライフ	浜之郷	ひばりが丘		
	茅ヶ崎グランドハイツ	下町屋	美住町		
	藤和茅ヶ崎ハイタウン	T B S	三が丘		
	藤和ハイタウン湘南茅ヶ崎	サニータウン茅ヶ崎	菱沼南部		
	パークスクエア湘南茅ヶ崎	ホームタウン茅ヶ崎	菱沼海岸緑		
	レクセルマンション茅ヶ崎	ライオンズ茅ヶ崎ザ・アイランズ	平和町		
	ザ・パークハウス茅ヶ崎		松浜		
茅ヶ崎南地区 6	若松町幸	鶴嶺西地区 10	萩園	浜須賀地区 12	松須賀
	共恵中央		新田		浜須賀住宅
	共恵東		今宿		翠松会
	幸町		今宿グリーンハイム		菱沼海岸
	共恵海岸通り		コスモ茅ヶ崎プレシオ		松濤会
	中海岸		萩園サンハイム		松が丘ハイツ
海岸地区 12	東海岸北一丁目	松林地区 9	ライオンズマンション茅ヶ崎第三	湘北地区 7	甘沼
	東海岸北二丁目		リステージ茅ヶ崎ツインマークス		香川
	東海岸北三丁目		菱沼		松風台
	東海岸北四丁目		室田		鶴が台団地
	東海岸北五丁目		上赤羽根		鶴が台一街区
	東海岸南一丁目		中赤羽根		ライトタウン茅ヶ崎
	東海岸南二丁目	下赤羽根	みずき		
	東海岸南三丁目	高田	堤上		
	東海岸南四丁目	ニュータウン茅ヶ崎	堤下		
	東海岸南五丁目	ショクサンピラ	下寺尾		
	東海岸南六丁目	オクトス湘南茅ヶ崎	行谷		
	パシフィックガーデン茅ヶ崎	新宿	芹沢西部		
南湖地区 6	茶屋町	小和田地区 6	本宿	小出地区 17	芹沢久組
	鳥井戸		赤松町		芹沢中部
	上町		赤松		芹沢東部
	中町		菱沼小和田		二本松
	下町		プランヴェール湘南茅ヶ崎		八王子原
	新南湖				芹沢ひかりが丘
		芹沢清水台			
		湘南ライフタウンB地区茅ヶ崎			
		湘南ライフタウンF地区茅ヶ崎			
		湘南ライフタウン羽根沢第一住宅			
		やよい会			
		芹沢細谷紺谷村			





本事例集を作成するにあたり、防災活動事例の募集にご協力いただきまして  
ありがとうございました。

この事例集を参考に、地域の防災活動がより促進されることを期待しています。

## 防災活動事例集

---

発行日 令和4年3月 初版

令和6年3月 更新

令和7年3月 追加

発行 茅ヶ崎市

編集 暮らし安心部 防災対策課

電話 0467-81-7127 (直通)

メール [bousai@city.chigasaki.kanagawa.jp](mailto:bousai@city.chigasaki.kanagawa.jp)